

平成30年度

足利市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 足利市社会福祉協議会

## 目 次

1	役員等の異動	…	1
2	会議等の開催状況	…	1
3	職員の状況	…	4
4	社協会費の状況	…	4
5	地域福祉活動計画の具現化の取り組み	…	4
	(1) 目標1：皆が参加し支え合う福祉の風土をつくる	…	4
	(2) 目標2：住民の身近なところで様々な地域福祉活動を推進する	…	8
	(3) 目標3：福祉活動の担い手を支援する	…	10
	(4) 目標4：安心して暮らせる地域づくりを進める	…	12
	(5) 目標5：いつでも相談ができる適切な情報が得られる仕組みづくりを進める	…	15
6	介護保険事業等及び障害福祉サービスの実施	…	16
7	障害児通所支援事業の運営	…	16
8	福祉施設等の経営	…	17
9	その他の事業	…	22

# 事業報告書

## 1 役員等の異動

役職	就任		退任	
	氏名	年月日	氏名	年月日
理事	大川 晴美	30. 6. 22	(平澤 敏明)	(30. 3. 31)
監事	松葉 幸藏	30. 6. 22	長竹 公二	30. 5. 26
評議員	江田 實	30. 9. 10	本嶋 武久	30. 5. 26
評議員	亀山 定司	30. 6. 11	根岸 将英	30. 5. 26
評議員	青木 希一	30. 6. 11	山村 誠三	30. 5. 24
評議員	須藤 平八郎	30. 6. 11	新井 文雄	30. 6. 11
評議員	上岡 恵子	30. 6. 11	松岡 千恵子	30. 5. 16
評議員	直井 康	30. 6. 11	源田 晃澄	30. 5. 23

\* ( ) 内は、前年度に退任された方です。

## 2 会議等の開催状況

### (1) 理事会

	開催日	内 容
第1回	6/6(水)	報告第1号 会長専決処分事項について 報告第2号 平成30年度第1回現金出納検査の結果について 報告第3号 理事及び監事の退任について 報告第4号 評議員の退任について 報告第5号 社会福祉充実残額について 議案第1号 評議員候補者の提案について 議案第2号 平成29年度足利市社会福祉協議会事業報告について 議案第3号 平成29年度足利市社会福祉協議会資金収支決算について 議案第4号 平成30年度足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第1号について 議案第5号 平成30年度足利市社会福祉協議会定時評議員会の開催について

	開催日	内 容
第 2 回	9/5(水)	<p>報告第1号 平成30年度第2回現金出納検査の結果について</p> <p>報告第2号 児童養護施設泗水学園に対する改善勧告について</p> <p>報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>議案第1号 副会長の選任について</p> <p>議案第2号 評議員選任・解任委員会委員の選任について ・松葉幸藏氏を評議員選任・解任委員会委員に選任する件</p> <p>議案第3号 評議員候補者の提案について</p> <p>議案第4号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第2号について</p> <p>議案第5号 平成30年度第2回社会福祉法人足利市社会福祉協議会評議員会の開催について</p>
第 3 回	11/28(水)	<p>報告第1号 評議員の選任結果について</p> <p>報告第2号 平成30年度第3回現金出納検査の結果について</p> <p>議案第1号 諸規程の改正について</p> <p>議案第2号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第3号について</p> <p>議案第3号 平成30年度第3回足利市社会福祉協議会評議員会の開催について</p>
第 4 回	3/12(火)	<p>報告第1号 平成30年度第4回現金出納検査の結果について</p> <p>報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>議案第1号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会定款の変更について</p> <p>議案第2号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会諸規程の改正について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会施設長等の選任について</p> <p>議案第4号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第4号について</p> <p>議案第5号 平成31年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会事業計画について</p> <p>議案第6号 平成31年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支予算について</p> <p>議案第7号 平成30年度第4回社会福祉法人足利市社会福祉協議会評議員会の開催について</p>

(2) 監事会

	開催日	内 容
第1回	5/24(木)	平成30年度第1回現金出納検査（平成30年1月～3月） 平成29年度事業報告について 平成29年度決算について
第2回	8/3(金)	平成30年度第2回現金出納検査（平成30年4月～6月）
第3回	11/5(月)	平成30年度第3回現金出納検査（平成30年7月～9月）
第4回	2/5(火)	平成30年度第4回現金出納検査（平成30年10月～12月）

(3) 評議員会

	開催日	内 容
定時評議員会	6/22(金)	報告第1号 評議員の退任及び選任結果について 報告第2号 社会福祉充実残額について 議案第1号 役員（理事及び監事）の選任について 議案第2号 平成29年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 事業報告について 議案第3号 平成29年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金 収支決算について 議案第4号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 資金収支補正予算第1号について
第2回	9/13(木)	報告第1号 副会長の選任結果について 報告第2号 評議員の選任結果について 報告第3号 児童養護施設泗水学園に対する改善勧告について 議案第1号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 資金収支補正予算第2号について
第3回	12/7(金)	議案第1号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 資金収支補正予算第3号について
第4回	3/26(火)	議案第1号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会定款の変更について 議案第2号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会役員等の報酬 等に関する規程の改正について 議案第3号 平成30年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 資金収支補正予算第4号について 議案第4号 平成31年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 事業計画について 議案第5号 平成31年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会 資金収支予算について

3 職員の状況（平成31年3月31日現在） (人)

職員数	職員区分（職員数内訳）			
	正規職員	嘱託給職員	時間給職員	非常勤職員
152	63	38	21	30

4 社協会費の状況

平成30年度会費収入	14,210,759円
内訳：普通会費（各世帯）	11,705,426円
特別会費（個人）	795,799円
賛助会費（法人、企業、施設、団体等）	1,709,534円

5 地域福祉活動計画の具現化の取り組み

第3次足利市地域福祉活動計画（5か年）実施の2年目として、地区社会福祉協議会等と連携し地域福祉の推進に努めました。

「目標1：皆が参加し支え合う福祉の風土をつくる」に関する事業の実施

(1) 福祉教育の充実

福祉への理解は、子どものころからの学習や体験が必要であることから、学校や当事者団体等との十分な連携を図り、福祉教育や体験学習の充実に努めました。

ア 福祉教育・体験学習への支援状況 (回、人)

区分		延回数	参加人数	内容
総合学習等への支援	小学校 20校	32	1,948	点字教室、手話教室、アイマスクガイド体験、車いす体験、高齢者疑似体験、当事者の講話、ボランティアに関する講話、福祉体験器材の貸出し等
	中学校 1校	2	67	
福祉器材貸出し	団体等 5団体	5	/	
	特別支援学校 1校	2		
	小学校 1校	1		
中学校 1校	1			

イ 「福祉に関する標語」の活用

平成29年度に実施した「福祉に関する標語コンクール」で最優秀賞を受賞した標語3点を、各種事業や広報誌で活用しました。

小学生の部 「支え合い 地域の絆 深めよう」

中学生の部 「助け合う あなたの心が地域を変える」

一般の部 「人助け 一歩踏み出す その勇気」

ウ 「第38回足利市ふれあいのつどい」の開催

期 日：平成30年5月13日（日）

会 場：足利市民体育館

来場者数：約10,500人

ボランティア数：約500人

エ 「マスコットキャラクター」の活用

福祉への理解とPRのために広報紙やホームページ等で活用しました。

(2) 住民に対する福祉への理解の促進

地域住民に対し福祉研修会や懇談会を開催することで、福祉への理解を促進しました。また、出前福祉講座のメニューを増やす等、内容の充実に努めました。

ア 出前福祉講座等

(人)

実施日	依頼元	講座の内容	参加者人数
5月16日	足利市	足利市新任職員研修	45
6月11日	小俣地区社協	福祉協力員・サロン代表者合同研修会	29
6月13日	久野地区社協	役員会研修「福祉協力員について」	48
6月17日	高松町支部（筑波地区）	福祉協力員研修会	12
7月3日	足利市	足利市新任職員研修（ふりかえり）	45
7月20日	足利市	ささえ愛ボランティア養成講座	10
8月21日	毛野公民館	高齢者大学「人権研修」	30
11月21日	足利市	ささえ愛ボランティア養成講座	10
2月1日	北中学校	地域の人に学ぶ会	12
2月14日	訪問看護ステーション	高齢者疑似体験講座	41
2月15日	柳原地区社協	サロン代表者会議	35

イ 地域福祉講演会

足利市地区社会福祉協議会長連絡協議会と市社会福祉協議会が共催で、地域福祉をテーマに講演会を実施しました。

期 日：平成30年11月29日（木）

会 場：足利市民会館 別館ホール

内 容：【講演】「誰もが、地域で、生き活きと～障がいのある方が地域で自分らしく暮らすために～」

全国社会就労センター協議会 会長

社会福祉法人 足利むつみ会 理事長

阿由葉 寛 氏

来場者：231人（関係者含む）

ウ 赤い羽根シネマ

福祉をテーマとした映画を通して、地域住民がさまざまな地域課題や福祉について関心を持つきっかけづくりを目的とし実施しました。

期 日：平成31年2月16日（土）

会 場：ユナイテッド・シネマアシコタウンあしかが

作 品：「ワンダー君は太陽」

来場者：180人（関係者含む）

エ 赤い羽根パートナーミーティング

共同募金配分事業報告を通して、地域課題や課題解決のための活動について考えることを目的とし実施しました。

期 日：平成30年8月19日（日）

会 場：足利市民プラザ小ホール

内 容：【講演】

社会福祉法人 小浜市社会福祉協議会 常務理事 豊永 真誠 氏

【報告】

やばがわの風 足利市障がいを持つ子どもと家族の会ぽっかぽか

来場者：98人（関係者含む）

(3) 障がい児者との交流の促進

地域住民の障がい児者やその家族に対する理解の促進を図りました。また、ノーマライゼーション社会の実現に向け、障がい児者と地域住民との交流を促進しました。

ア 障がい児者ふれあいサロン

地区社協	実施日	会場	内容	参加者及び人数
御厨	7/28(土)	御厨公民館	茶話会、コーラス、輪投げ	障がいのある方と家族(介護者含む) 43人、地区社協20人、その他4人
三重	8/25(土)	三重公民館	茶話会、輪投げ、バツゴー	障がいのある方と家族(介護者含む) 11人、地区社協10人、その他2人、実習生3人
	12/2(日)	三重公民館	茶話会、輪投げ、バツゴー、ビンゴゲーム	障がいのある方と家族(介護者含む) 7人、地区社協10人、ボランティア1人、その他2人



葉鹿	6/3(日)	コミュニティカフェよこまち	茶話会、ピアノ演奏、トランプ	障がいのある方と家族(介護者含む) 13人、地区社協3人、ボランティア2人、その他2人
	9/2(日)	コミュニティカフェよこまち	茶話会、ペルー音楽演奏	障がいのある方と家族(介護者含む) 7人、地区社協3人、ボランティア4人、その他3人
	12/2(日)	コミュニティカフェよこまち	クリスマス会	障がいのある方と家族(介護者含む) 24人、地区社協3人、ボランティア4人、その他1人
	3/3(日)	コミュニティカフェよこまち	茶話会、ピアノ演奏、らくがきせんべい	障がいのある方と家族(介護者含む) 14人、地区社協3人、その他4人
山辺	2/23(土)	山辺公民館別館ホール	茶話会、ニュースポーツ、コーラス、ダンス	障がいのある方と家族(介護者含む) 13人、地区社協13人、ボランティア6人、その他8人
北郷	5/27(日)	北郷公民館	茶話会、ビンボーリング、バツゴー	障がいのある方と家族(介護者含む) 10人、地区社協13人、その他5人

イ 障がい児者とのレクリエーション及び軽スポーツ交流会

団体	実施日	会場	参加者及び人数
肢体不自由児者父母の会他	10/27(土)	足利市民プラザ 身体障がい者 スポーツセンター	父母の会他 11人 山辺地区住民 12人 その他(市社協) 2人
足利市視覚障害者福祉協会	9/27(木)	足利スターレーン	足利市視覚障害者福祉協会 13人 点訳サークル「あいの会」 14人 矢場川地区住民 12人 その他 3人

「目標 2：住民の身近なところで様々な地域福祉活動を推進する」に関する事業の実施

(1) 見守り活動の充実

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方が元気で安心して生活できるよう、地区社会福祉協議会が行っている声かけ、訪問等での見守り活動の充実に努めました。また、担い手となる福祉協力員の設置に努めました。

ア ふれあい・いきいきサロン設置数 180か所(平成 31 年 3 月 31 日現在)

イ ふれあい・いきいきサロン代表者交流会 (人)

地区社協	実施日	会場	参加人数	備考
小俣	6/11(月)	小俣公民館	36	福祉委員、福祉協力員との合同研修会
山辺	6/20(水)	山辺公民館	30	
柳原	2/15(火)	大正町自治会館	35	

ウ 食中毒予防に関する講習会

期 日：平成 30 年 7 月 3 日 (火)

会 場：総合福祉センター

講 話：「食品の衛生管理及び食中毒予防について」

講 師：安足健康福祉センター 生活衛生課長 福田雄彦 氏

参加者：76人

エ 高齢者等の救急時安心事業

病気やけがなどの緊急時に活用してもらうため、「かかり付け医療機関」や「緊急時の連絡先」などの情報を、専用の容器に入れ、各家庭の冷蔵庫に保管する「安心キット」を、各地区社協を通じて、独居高齢者、高齢者世帯等に配布しました。

容 器： 339個

カード： 589枚

シール： 750枚

活用状況： 3件 (独居高齢者 女性3人)

(2) 健康づくり・介護（予防）事業の推進

すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護（予防）事業の充実に努めました。

ア 車いす・特殊寝台貸出事業

日常生活又は社会生活において、車いすや特殊寝台を必要とする方に無償で貸出し、生活の支援をしました。

貸出の状況（平成31年3月31日現在） （台）

区 分		車いす	特殊寝台
年度末保有台数		238	90
年度中	貸出台数	156	2
	返却台数	169	16
年度末貸出台数		145	80
年度末貸出可能台数		93	10

イ リフト付き福祉車両の貸出事業

高齢者や障がい者等で、車いすを使用しなければ外出が困難な方に、リフト付き福祉車両を貸出し、生活の支援をしました。

登録者数： 9件

申請数： 30件

貸出： 25件（43日）

(3) 子育て支援の充実

子育てをしている保護者が、地域のみなさんとのふれあいを通して、子育てに関する悩みや楽しみを分かち合いながら仲間を作り、互いに支え合うことができるよう子育てサロンを設置しています。地域で子育てを支援する体制づくりと継続的な支援に努めました。

ふれあい子育てサロン設置数13か所（平成31年3月31日現在）

(4) 小地域福祉活動の充実

地域の様々な課題に対応する福祉活動に地域住民が進んで参加できるよう、地区社会福祉協議会と連携を図りながら、自治会を単位とした小地域福祉活動の充実に努めました。

ア 地域福祉活動者保険

保険名：全国社会福祉協議会ボランティア活動保険

加入者数：1,899人

イ 地区社会福祉協議会における支部設置の推進

支部設置数：185支部（平成31年3月31日現在）

ウ 福祉協力員養成研修会

地区社協	実施日	会場	テーマ	参加者及び人数
三重	5/14(月)	三重公民館	足利市社協の事業の概要について	三重地区社会福祉協議会役員・福祉委員等約60人
久野	6/13(火)	久野公民館	福祉協力員について	久野地区社会福祉協議会 出席者48人
筑波	6/17(水)	高松町自治会館	福祉協力員の役割について	高松町支部福祉協力員等 12人

「目標3：福祉活動の担い手を支援する」に関する事業の実施

(1) ボランティアの人材育成及び推進

多くの市民の参加を促すため、ボランティア活動に関する講座等を充実するなど、ボランティア活動者の人材育成に努めボランティア活動の推進を図りました。

ア ボランティアセンター登録状況（平成31年3月31日現在）

団体：38団体（927人） 個人：27人

イ ボランティア相談

相談日：毎週月曜日から金曜日

開設場所：総合福祉センター

相談件数：14件

ウ ボランティア活動者保険

保険名：全国社会福祉協議会ボランティア活動保険

加入者数：925人

エ ボランティアルーム利用状況

登録：11団体

利用状況：436人

オ 養成講座等の状況

(回、人)

講座名	開催日	回数	受講者実人数
手話奉仕員養成講座	4/12～3/14	46	11
点訳講座 中級コース	5/9～9/26	20	9
傾聴ボランティア講座	11/6. 13. 20. 27	4	18

カ 中学生・高校生のボランティアスクール

児童福祉施設での活動を通して、ボランティア活動の体験と地域福祉に対して興味関心を持つきっかけづくりが出来るように実施しました。

(人)

開催日	会場	内容	参加人数等
8/6(月)	総合福祉センター	開講式・オリエンテーション (講義) ボランティア活動について 体験施設の説明と心構え	中学生 11 高校生 4 計 15
8/7(火) ～ 8/9(木)	梁田こども館 山川こども館 八幡こども館 健康サービスセンターけやき サービスセンター相生	ボランティア活動  お祭り製作手伝い、水遊び、 自由遊び、買い物ごっこ等	梁田こども館 3 山川こども館 3 八幡こども館 3 健康サービスセンターけやき 3 サービスセンター相生 3 計 15

キ 小学生の親子ボランティアスクール

(人)

開催日	会場	内容	参加人数等
8/19(日)	市民プラザ	赤い羽根募金の話を聞く、募 金箱作り、街頭募金体験 (赤い羽根パートナーミーテ ィングと同時開催)	小学生 7 保護者 4 計 11

(2) ボランティア・NPOに対する支援

ボランティアやNPOの自立した活動を支えるため「市民活動助成金交付要領」に基づく支援のほか、他機関等が実施する助成金情報の提供とともに、ボランティア活動等を継続するための相談体制の充実・強化を図りました。

ア ボランティア協会との共催によるアフリカ救援節食ディナーの開催

期 日：平成31年3月2日(土)

会 場：足利市民会館小ホール

来場者：約300人

### (3) 各種団体の取り組む福祉活動の支援

企業、PTA、当事者団体、サークル等の各種団体に対し、福祉活動に関する情報提供を行うとともに、各種団体が実施する研修会等の支援を行いました。

#### ア 在宅介護者の会「さわやか会」及び在宅介護者への支援

##### 介護施設見学

期 日：平成30年10月26日（金）

場 所：地域密着型特別養護老人ホーム 四季の華

内 容：市内の新しい介護施設を見学する

参加者：会員20人

##### お楽しみ昼食会

期 日：平成30年11月9日（金）

場 所：ココ・ファーム・カフェ

内 容：会員同士の親睦を図る。

参加者：会員11人

##### 寄せ植え教室・会食会

期 日：平成31年3月8日（金）

場 所：あしかがフラワーパーク

内 容：会員同士の親睦を図る。

参加者：会員14人

## 「目標4：安心して暮らせる地域づくりを進める」に関する事業の実施

### (1) 災害ボランティアの育成と支援

災害発生時に、いち早く災害ボランティアセンターを開設し、ボランティア活動が出来る体制づくりに努めました。また、災害時の身近な地域での活動を支援するため、災害ボランティアの育成に努めました。

#### ア [市民向け]災害ボランティア講座

災害ボランティアとして必要な知識等を学び、普段から防災・減災の意識を持って活動される方を養成することを目的に開催しました。

期 日：平成31年2月3日（日）

内 容：講話「災害支援の基礎」

講 師：にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

参加者：77人

イ 災害ボランティアセンター設置運営訓練

実際の被災を想定した災害ボランティアセンターの設営と運営シュミレーションを行うことにより、社協と災害ボランティアが協働した効率的な運営につなげることを目的に開催しました。

期 日：平成31年2月3日（日）

内 容：災害ボランティアセンター設置運営訓練

講 師：にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

参加者：61人

ウ 災害ボランティアセンター 関係機関・団体等情報交換会

日頃から災害時に備えるため、災害ボランティアセンターに関係する機関や団体等と情報交換を行いました。

期 日：平成30年11月17日（土）

内 容：災害ボランティアセンター 関係機関・団体等情報交換会

講 師：にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

参加団体・人数：18団体・31人

(2) 日常生活自立支援事業の活用促進及び成年後見制度の普及啓発

判断能力が十分でない方に対して、書類の管理や日常生活の金銭管理などの支援を行う「日常生活支援事業」を実施しました。

また、成年後見制度の利用を必要とする高齢者、障がい者の増加が予測されることから、成年後見制度の普及啓発に努め、法人後見事業を試行的に実施しました。

ア 福祉サービス利用契約状況 (件)

区 分	年度初 利用契約数	年度中		年度末 利用契約数
		契約数	解約数	
生活支援サービス	102	23	19	106

イ 相談件数 (件)

区 分	件 数	備 考
一般相談	1,565	平日

ウ あすてらすあしかが生活支援員連絡会議

期 日：平成30年4月24日（火）

会 場：総合福祉センター

対 象：民間生活支援員

参加者：17人

エ 権利擁護（成年後見制度）研修会  
 期 日：平成30年10月24日（水）  
 会 場：足利市研修センター 2階第一研修室  
 内 容：「権利擁護研修会」～成年後見制度を中心に～  
 対 象：地区社協役員等、あすてらす生活支援員、居宅介護支援事業所職員、地域包括支援センター職員  
 講 師：一般社団法人認知症予防&サポート研究所アンクル  
 （街の相談室アンクル） 代表理事 河村 俊一 氏  
 参加者：103人

オ 法人後見事業（試行的実施）  
 3件 （内訳：後見人2件、保佐監督人1件）

(3) 生活困窮者自立支援制度の取り組み

足利市、足利公共職業安定所（ハローワーク足利）など関係機関と連携を図りながら、生活に困っている方への貸付け等の支援に努めました。

ア 生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会受託事業）

家族の病気や障がい等の理由により、生活の維持が困難となった世帯に対し、生活資金の貸し付けを行い、世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進を図りました。

貸付件数 (件、円)

資金種類	貸付件数	貸付決定額
総合支援資金	0	0
福祉資金	1	1,700,000
教育支援資金	4	3,335,000
教育支援費	2	2,628,000
就学支援費	2	707,000
臨時特例つなぎ資金	0	0
不動産担保型生活資金	0	0
緊急小口資金（震災の特例貸付）	0	0
合 計	5	5,035,000

イ 福祉金庫貸付事業

離職者や低所得世帯などの要支援者に対し小口資金の貸付を行い、自立支援に努めました。

貸付件数及び貸付金額 162件 3,654,000円  
 償還件数及び償還金額 384件 2,923,000円



(4) だれもが安心して集える地域での居場所づくり

ア 「足利流こども食堂」設置事業の支援

こどもたちの「孤食」や子育て世代の孤立化が進む中、地域住民が主体の運営による、だれもが安心して立ち寄れる地域の居場所づくりを推進しました。

● 平成30年度 「ふれ愛よこまち」

期 日：毎月第1水曜日 午後5時30分から午後7時（11月より）

毎月第3日曜日 午後0時～午後1時30分

会 場：コミュニティカフェよこまち（葉鹿町735-1）

運営団体：ふれ愛よこまちの会

回 数：19回（4/15～3/17）

参加人数：874人

● 平成30年度 「WAKU-WAKUベース」(平成31年3月1日設置)

期 日：毎月第3水曜日 午前10時30分～午後3時

※2回開催の月もあり

会 場：多機能型事業所ビーバディーズ（大町517）

運営団体：WAKU-WAKUベース

「目標5：いつでも相談ができる適切な情報が得られる仕組みづくりを進める」に関する事業の実施

(1) 社協だよりやホームページによる情報の発信

社協だよりやホームページを活用し、市社会福祉協議会の実施する出前福祉講座や事業のほか、地区社会福祉協議会で行っている地域での活動を紹介するとともに、福祉サービス等に関する情報の充実を図りました。

ア 広報誌「あしかが社協だより」の発行

（5月、7月、10月、3月の年4回、全戸配布）

イ ホームページによる情報の提供

(2) 相談窓口の情報提供

社協だよりやホームページを活用し、福祉に関する相談窓口の情報発信に努めました。

(日、件)

区分	相談日等	開設場所	相談員	相談日数	相談件数
心配ごと相談	毎週月曜日 午後1時～午後4時	市役所1階 市民相談室	民生委員・児童委員3人、 保護司2人、 学識経験者1人	49	83
弁護士相談	毎月第3月曜日 午後1時～午後4時	市役所1階 市民相談室	弁護士1人	12	136

(3) 手話通訳者等及び要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚に障がいのある方のコミュニケーション支援やサービス利用の利便性を高めるために手話通訳者・要約筆記者等を派遣・斡旋し、聴覚障がい者の支援に努めました。

区 分		件数	人数
相 談 件 数		1 5 8	
手話通訳者・手話奉仕員	派 遣	1 5 7	2 1 0
	斡 旋	1	2
要約筆記者	斡 旋	2	6

(件、人)

6 介護保険事業等及び障害福祉サービスの実施

要介護者や要支援者へのサービス提供のほか、障がい者等に対して障害福祉サービス事業や移動支援事業としてのサービス提供も実施し、家族介護者の負担軽減にも努めました。

ア 居宅介護支援事業（ケアプランセンターすまいる）

ケアプラン作成

(件・人)

	介護保険	介護予防	総合事業	合計
作成延件数	1, 2 1 7	3 5 6	2 8 9	1, 8 6 2
利用実人数	1 2 3	3 7	3 2	1 9 2

7 障害児通所支援事業の運営

(1) 障害児相談支援事業所

障がいを持った児童が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者等の心身の状況や置かれている環境等に応じて、利用される方の選択に基づき、適切な支援サービスを行いました。

- ・契約者数 1 5 2 人
- ・作成件数 本計画 1 7 3 人      モニタリング 2 0 5 人

(2) 足利市こども発達支援センター

障害福祉サービス事業として、発達に障がいのある乳幼児に対して、嘱託医による療育相談や理学療法士等の指導による機能訓練、保育士・児童指導員による日常生活訓練及び集団生活への適応訓練等を行い、早期療育に努めました。

また、近年、「ことばの遅れ」、「構音障害」など、言語に障がいを持つ幼児が増えており、言語聴覚士の果たす役割も大きくなっています。

- ・利用延人数 6, 5 9 1 人
- ・利用実人数 1 5 1 人（平成 31 年 3 月 31 日現在）

## 8 福祉施設等の経営

### (1) さわごハイム足利（定員20世帯）

とちぎ男女共同参画センター等の関係機関と連携を図りながら、入所母子の保護、自立に向けた母親の就労支援、養育支援や児童の健全育成に努めました。また、地域との交流事業も継続して実施しました。

措置状況 (世帯、人)

	年度初	年度中の状況		年度末
		入所	退所	
世帯数	16	3	7	12
人数	45	6	17	34

地域交流事業の実施状況 (人)

事業内容	参加者数	備考
夏まつり	231	有楽町自治会と共催
クリスマス会	39	地域児童との交流(青葉小)

### (2) 泗水学園（定員50人）等

#### ア 泗水学園

入所児童の養育保護、健全育成及び自立支援に努めるとともに、児童相談所等の関係機関と連携して被虐待児等の対応にも努めました。また、継続して地域交流や退所後の継続指導も実施しました。

措置状況 (人)

	年度初	年度中の状況		年度末
		入所	退所	
児童数	37	12	14	35

措置児童の状況（平成31年3月31日現在） (人)

区分	1・2歳児	年少児	小学生	中学生	高校生	その他	合計
児童数	1	7	17	9	1	0	35

入所理由別の状況 (人)

区分	虐待	養育困難	服役	親の疾病	養育拒否	養育不能	親の死亡	合計
児童数	5	13	7	7	2	1	0	35

退所理由別の状況（年度中） (人)

区分	卒園（進学・就職等）	家庭引取	措置変更	合計
児童数	3	9	2	14

地域交流事業等の実施状況 (人)

事業内容	参加者数
納涼祭	421
社会・工場見学	23
もちつき大会	420
高校生のボランティア	8

児童福祉施設交流事業の状況 (人)

事業内容	泗水学園の参加人数	主催者及び会場
文化祭	24	栃木県児童養護施設等連絡協議会 会場：高根沢町民ホール

イ ショートステイの利用状況 ・男児 1人 ・女児 2人 合計 3人

ウ ながとろ児童クラブの利用状況 (人)

区分	小学 1年	小学 2年	小学 3年	小学 4年	小学 5年	小学 6年	合計
登録児童数 (一般)	0	3	2	0	1	3	9
登録児童数 (季節)	0	0	2	1	1	1	5

・延べ利用人数 2,207人

(3) わかば保育園 (定員120人)・しんまち保育園 (定員90人)

就労と育児の両立支援を図るため低年齢児保育、すこやか発達支援保育のほか延長保育を実施するなど、保育の充実に努めました。しんまち保育園においては、必要な時に利用できる一時預かり事業も実施しました。また、卒園児等との異年齢児交流やお年寄りや地域の人々との世代間交流を継続して実施し、地域の子育て支援センターとしての機能を果たしました。

ア わかば保育園

入所状況 (人)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度初人数	3	18	21	18	19	24	103
年度末人数	14	17	20	18	19	23	111
年間延人数	108	212	250	216	228	278	1,292
1か月平均人数	9	18	21	18	19	24	109
開所時間延長保育登録児数 (年間実人員)					154		
延長保育登録児数 (年間実人員：標準時間15・保育短時間7)							
一時預かり事業登録児数				休止のため該当なし			

※上記の年度初人数から1か月平均人数までは、毎月初日における入所人数を記載。

地域活動事業の実施状況 (人)

区 分	事 業 内 容	参加者数
異年齢児 交流事業	おめでとう1年生のつどい	50
	えがおいっぱいみんなでチャレンジ	61
	わかばワクワクなまつり	353
	ふれあい運動会	517
世 代 間 交流事業	お年寄りとの花植え	153
	ふれあい運動会	517
	お年寄りとこどものレクリエーション日和	140
	もちつき	161
合 計		1,952

イ しんまち保育園

入所状況 (人)

区 分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
年度初人数	5	15	16	15	12	20	83
年度末人数	11	17	17	15	11	19	90
年間延人数	101	198	201	183	133	230	1,046
1か月平均人数	8	17	17	15	11	19	87
開所時間延長保育登録児数 (年間実人員)					67		
延長保育登録児数 (年間実人員：標準時間18・保育短時間15)							
一時預かり事業登録児数				5			

※上記の年度初人数から1か月平均人数までは、毎月初日における入所人数を記載。

地域活動事業の実施状況 (人)

区 分	事 業 内 容	参加者数
異年齢児 交流事業	入学を祝う会	57
	みんなでチャレンジ	53
	夏祭り	311
	みんなで楽しむ運動会	442
世 代 間 交流事業	お年寄りとこどもの花植え	47
	おじいちゃんおばあちゃんとお楽しみ会	141
	お年寄りとこどものレクリエーション	135
	いも煮会	78
	作品展示会	264
合 計		1,528

(4) 八幡こども館・にしこども館

遊びや仲間づくりなどを通しての子どもたちの生活の安定や子どもたちの能力の発達を手助けするなど児童の健全育成に努めました。

一般利用対象事業、放課後児童クラブ、子育て支援事業（びよびよクラブ、ふれあいひろば）を実施するとともに、地域との交流事業を行いました。

利用状況 (人)

区 分		八幡こども館	にしこども館
一般利用	幼 児	1, 105	186
	児 童	1, 906	951
	その他	1, 444	335
	計 ①	4, 455	1, 472
児童クラブ	計 ②	8, 079	9, 181
びよびよクラブ	幼 児	585	143
	保護者	502	155
	計 ③	1, 087	298
お年寄りとの交流事業	計 ④	(437)	875
ふれあい広場	計 ⑤	2, 324	1, 192
地域活動クラブ	計 ⑥	268	187
合 計		16, 213	13, 205
1日平均利用人数		56	45

\*八幡こども館のお年寄りとの交流事業（ ）については、一般利用等に含まれます。

※開館日数 292日

児童クラブの登録状況 (人)

区 分	小学 1年	小学 2年	小学 3年	小学 4年	小学 5年	小学 6年	合 計
八幡こども館	12(1)	12(0)	9(3)	4(0)	1(0)	0(0)	38(4)
にしこども館	17(0)	10(1)	14(1)	3(1)	0(0)	0(0)	44(3)
合 計	29(1)	22(1)	23(4)	7(1)	1(0)	0(0)	82(7)

※年度中の登録実人数を表す。

※（ ）内は、季節利用

こどもとお年寄り等の交流事業の状況 (人)

こども館	事業内容	参加人数
八幡こども館	こども館まつり	350
	おたのしみ会	33
	お正月のつどい	54
合 計		437
にしこども館	はじめましてワキワ交流会	90
	小俣まつり (ふれあい模擬店)	307
	小俣地区文化祭	146
	サークル活動発表会	131
	お正月あそび	61
	高齢者施設訪問	140
合 計		875

地域活動クラブの会員の状況 (平成31年3月31日現在) (人)

区 分	八幡地域活動クラブ	小俣地域活動クラブ
会 員 数	75	45

(5) 視覚障害者福祉ホーム

視覚障がい者に対し、ボランティアグループ等と連携し、研修会等の開催、生活訓練事業等の実施及び相談事業などを実施し、自立支援に努めました。

また、点訳ボランティアは、あしかがみ等の点訳活動の拠点として、声のボランティア会は対面朗読、音訳グループ「ねいろ」はテープ雑誌、デージー録音等、福祉ホームを利用されています。 年間利用者数 3,254人

(6) 総合福祉センター

本会の本部を置き、法人運営のほか、地域福祉の推進や介護保険事業などの福祉サービスの提供に努めました。

会議室において各種講習会を開催するほか、福祉団体やボランティアグループへの貸出しを行いました。機能回復訓練室においては、足利市の開催する「元気アップ教室」などの活動の場として活用されています。

会議室利用状況 (人)

会議室	利用人数
301会議室	2,897
302会議室	1,372
303会議室	966
304会議室	939
和室会議室	847
機能回復訓練室	2,584
合 計	9,605

## 9 その他の事業

- (1) 足利市と連携し市内公共施設等に募金箱を設置し、東日本大震災義援金や熊本地震災害義援金の募集、受付を行いました。

(円)

区分	東日本大震災義援金	平成28年熊本地震災害義援金
日本赤十字社	15,197	15,646
共同募金会	—	—
合計	15,197	15,646

(平成31年3月31日現在)

(円)

区分	7月豪雨災害義援金	北海道胆振東部地震災害義援金
日本赤十字社	890,950	580,425
共同募金会	860,057	50,000
合計	1,751,007	630,425

(平成31年3月31日現在)

- (2) 地区等の敬老事業への助成

地区敬老会及び施設敬老会について、敬老会経費の助成を行いました。

- ・敬老会経費の助成（1人当たり150円） 対象24,666人

- (3) 共同募金運動、歳末たすけあい運動の推進

栃木県共同募金会足利市支会事務局として、自治会などの協力を得て、赤い羽根共同募金及び歳末助け合い運動を実施しました。

10月から12月期赤い羽根共同募金は、県内の福祉施設の備品及び災害のための積立金、並びに本市の地域福祉活動に活用されました。また、1月から3月期募金はテーマ型募金として足利流こども食堂設置助成事業に活用されました。

さらに、歳末たすけあい募金は支援を要する方への支援金及び地域福祉活動への助成金に活用されました。

- ・赤い羽根共同募金運動(10月~12月期) 募金実績額 14,151,368円
- ・赤い羽根共同募金運動(1月~3月期・テーマ型) 募金実績額 327,374円
- ・歳末たすけあい募金運動 募金実績額 13,090,059円

- (4) 日本赤十字事業への協力

日本赤十字社栃木県支部足利市地区事務局として、国内の災害救援活動や国際救援活動等に充てるため、社資募集を行うとともに、火災等による被災世帯への救援などに努めました。

- ・日赤活動資金実績額 14,085,515円